

**2015年度後期 スポーツ健康科学研究科
修士論文公聴会 タイムスケジュール**

日時:2月11日(木祝)8:45~17:00

場所:インテグレーションコア1F アカデミックラウンジ

開会の挨拶:田畑研究科長 閉会の挨拶:真田副学部長(研究科担当) 司会:藤本助教、栗原助教

◆発表時間1人20分以内(プレゼンテーション12分、質疑応答7分、入替1分)

順番	開始	終了	氏名	修士論文題名
8:45~8:50 開会の挨拶 田畑研究科長				
1	8:50	9:10	池田 祐太郎	カスタマー・エクイティの観点から見るプロ野球における観戦者獲得・維持の戦略 -北海道日本ハムファイターズの観戦者獲得・維持の戦略を事例に-
2	9:10	9:30	板野 静枝	ストレッチング介入が高齢者のバランス能力に及ぼす影響
3	9:30	9:50	梅野 徳	コンカレント運動におけるレジスタンス運動と有酸素性運動の実施順序が骨格筋肥大に与える影響
4	9:50	10:10	奥野 彰文	心電図計測可能なスマートウェアの開発
休憩10分				
5	10:20	10:40	笠井 信一	低酸素環境下におけるスプリントトレーニングの効果に関する研究
6	10:40	11:00	川喜田 水希	リーダー・メンバーの関係性とチーム内における分化がアウトカムに及ぼす影響 -評価システムの運用による調整効果-
7	11:00	11:20	木戸 康平	単回のレジスタンス運動に伴うラット骨格筋での糖取り込み制御の検討
8	11:20	11:40	窪田 壮志	習慣的なn-3系脂肪酸の摂取がエネルギー代謝および主観的食欲に及ぼす影響
昼休憩45分				
9	12:25	12:45	小島 千尋	陸上長距離競技者における20km走に伴う食欲調節の変化
10	12:45	13:05	佐々木 翔平	ジュニアゴルフ選手のパフォーマンス向上を目的としたトレーニングプログラム作成の検討
11	13:05	13:25	佐瀬 晃平	長時間絶食状態におけるレジスタンス運動がオートファジー・リソソーム経路に及ぼす影響
12	13:25	13:45	佐藤 愛	大学生アスリートにおける効果的な栄養教育手法の検討 -トランスセオレティカルモデルに着目して-
13	13:45	14:05	瀧 千波	最大随意収縮力に影響をおよぼす神経要因の検討
14	14:05	14:25	田代 実希	大学運動部活動における効果的な上方向への影響戦略とその促進条件に関する検討
15	14:25	14:45	樋口 栄美穂	運動選手における動作機能の実態と行動の変容
休憩10分				
16	14:55	15:15	藤江 隼平	中高齢者の有酸素性運動による動脈硬化改善効果にadropin分泌の増大が関与する
17	15:15	15:35	政金 康太	体重階級制競技を行うジュニアアスリートにおける急速減量の改善 -栄養に関する参画的な情報提供の効果-
18	15:35	15:55	水野 沙洸	持久性運動終了後におけるコンプレッションウェアの着用が運動パフォーマンスの回復および筋損傷・炎症反応に及ぼす影響
19	15:55	16:15	山崎 直哉	繰り返し行う短時間高強度運動後における過剰二酸化炭素排出量の動態の検討
20	16:15	16:35	吉原 彩実	テニスプレーヤーを対象としたプライオメトリックトレーニングの効果
21	16:35	16:55	YANG Qi	中国河南省におけるスキーツーリズムのサービス品質に関する研究 -スキーツアー客へSERVQUALを用いた事例研究-
16:55~17:00 閉会の挨拶 真田副学部長				

- ご自由に参加頂けますが、発表途中の入退室は避けてください。
- 開始時刻から参加される場合は、8:40には着席ください。
- 当日は、修士論文の要旨をまとめた冊子を配布します。
- 終了後、17:30からユニオンスクエア2階にて、スポーツ健康科学研究科の同窓会を開催します。

【発表者への連絡事項】

- ※ 公聴会の実施方針は2015年9月28日に公表したものを確認してください。
- ※ プレゼンテーション用パワーポイントは、USBメモリーに保存し、当日の会場に直接持参すること。
- ※ 午前の発表者は【8:30~8:40】、午後の発表者は【昼休憩】の間に会場用パソコンに接続してあるUSBメモリーに保存すること。
- ※ 会場用パソコンで事前に動作確認をしたい場合は、事務室窓口にて相談の上、試しておくこと。Macの使用を希望する場合は、事務室に事前相談の上、発表者間のセッティング時間は設定していないので、必ず進行に支障がないように使用すること。